

愛媛県初の環境対応型「ホテル古湧園 遥(HARUKA)」

株式会社古湧園

【住所】〒790-0836 愛媛県松山市道後鷺谷町1-1 【TEL】089-945-5911
【URL】<https://www.kowakuen.com>

活動概要

緩和分野

取組の概要

道後温泉ホテル古湧園 遥(HARUKA)は愛媛県初のZEB認証(ZEB ready)ホテルであり、太陽エネルギーの有効活用や省エネ設備の導入、断熱性能の強化等により一次エネルギーの大幅な削減(約62%)につなげるとともに、ZEBによる環境配慮への高い意識や積極的な情報発信により、「観光未来都市まつやま」のイメージアップに寄与している。

気候変動対策としての貢献度

建築性能(高断熱・高气密)の向上、省エネと創エネ設備(高効率空調・LED照明・太陽光発電・ハイブリット給湯システム)等の10項目のZEB要素を取り入れた結果、19,648,780MJ/年であった一次エネルギー消費量を7,417,740MJ/年まで削減することができた。

とりわけ太陽熱温水器を利用したハイブリット給湯システムについては、温暖少雨な松山市の地域特性をいかし、最大限に太陽熱の恩恵を受けられるよう設置し、より一層再生可能エネルギーの普及に貢献した。

期待される波及効果

ZEBの普及は2050年カーボンニュートラルの実現に向け求められている重点対策の1つであり、今回の取組は今後の松山市内はもとより愛媛県内の脱炭素化の機運を高め、ホテルだけではなく、事務所ビルや商業施設等へのZEB導入への横展開が期待できる。

また、道後地域のさらなる認知度向上により、にぎわいが創出され消費拡大による「環境と経済の好循環」が実現し、脱炭素型のライフスタイル変革に寄与することができる。

刷新的要素

「再エネ100宣言 Re Action」に参加し、事業活動に伴う電力を段階的に2050年を目途に100%再生可能エネルギー由来に転換することを目標に掲げている。

また、持続可能な社会の実現のためSDGsへの取組を積極的に実施しており、食材の地産地消による輸送エネルギーの削減貢献と客室アメニティを排除したエコ宿泊プランによるワンウェイプラの削減等、ZEB以外での地球温暖化対策も積極的に取り組んでいる。

今後の計画、持続的な展開の展望

地域の発展を牽引するリーディングカンパニーを目指し、DX(デジタルトランスフォーメーション)により、顧客や社会のニーズを把握し、さまざまなコンテンツを持つ地元の企業や団体と協働しながら、新たな生活様式に則った安全・安心な新しい旅行・観光スタイルを提案するとともに、ダイバーシティ経営により、多様な人材を活かし、その能力を最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげていく。



ホテル外観



ホテルの屋上一面に設置された太陽光集熱パネル